

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 株式会社 SANKYO

上場取引所 東

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 石原 明彦

TEL 03-5778-7777(代)

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	67,525	△33.9	3,090	△82.1	4,290	△78.7	1,922	△81.3
24年3月期第3四半期	102,201	△32.5	17,274	△56.5	20,141	△53.3	10,261	△62.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,790百万円 (△82.0%) 24年3月期第3四半期 9,933百万円 (△63.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.57	—
24年3月期第3四半期	109.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	435,735	398,159	91.4
24年3月期	495,988	418,303	84.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 398,159百万円 24年3月期 418,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
25年3月期	—	75.00	—		
25年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	△29.2	12,000	△70.2	14,000	△68.5	8,000	△60.4	85.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	97,597,500 株	24年3月期	97,597,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,124,151 株	24年3月期	4,123,691 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	93,473,620 株	24年3月期3Q	93,517,598 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などにより緩やかな回復の動きが見られ、また新政権への期待などから年末にかけて円安傾向や株価の上昇など明るい兆しも現れました。しかしながら海外経済を巡る不確実性、厳しい雇用情勢やデフレの影響などにより景気は依然として不透明な状況が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、長引く景気低迷の中、パーラー経営における低貸玉営業の一般化やファン人口の減少などにより貸玉料・貸メダル料の減少傾向が長期化しております。これを受けパーラーでは収益確保のため従来以上にコスト削減への意識が高まっており、新台購入を集客手段として重視するものの人気が見込める商品を厳選する傾向が顕著であり、実績のあるメーカーブランドや過去のヒットシリーズの続編など、一部の有力商品に需要が集中しております。

このような環境の下、当社グループにおきましては上半期に投入したパチンコ・パチスロの販売は計画を下回る結果となり、商品力強化を目的とした開発期間の延長などの理由から第3四半期以降の販売計画を抜本的に見直したため、平成24年11月5日付「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示したとおり、通期業績予想の修正に至っております。

この結果、売上高675億円（前年同四半期比33.9%減）、営業利益30億円（同82.1%減）、経常利益42億円（同78.7%減）、四半期純利益19億円（同81.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドでは「フィーバー創聖のアクエリオンⅢ」（平成24年7月）、「フィーバー倅田來未Ⅲ～Love Romance～ライトシリーズ」（平成24年8月）、「フィーバー覇-LORD-2」（平成24年10月）、「フィーバー蒲田行進曲」（平成24年11月）などを販売いたしました。Bistyブランドでは「エヴァンゲリオン7」の新バージョンである「EVAライトⅢ」（平成24年5月）と「Smile Model」（平成24年12月）、「戦国BASARA3～関ヶ原の戦い～」（平成24年7月）、JBブランドでは「ウイルスブレイカー」（平成24年6月）を販売いたしました。

この結果、売上高370億円（前年同四半期比44.9%減）、営業利益43億円（同76.2%減）、販売台数114千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドでは「パチスロ マクロスフロンティア はじまりの歌、銀河に響け！」（平成24年4月）、「パチスロ パトラッシュ」（平成24年7月）、「パチスロ 霸王伝 零」（平成24年9月）、Bistyブランドでは「GTO Limit Break」（平成24年6月）、「夜王」（平成24年8月）を販売いたしました。

この結果、売上高123億円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益17億円（同75.9%増）、販売台数39千台となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高168億円（前年同四半期比20.1%減）、営業利益7億円（同37.7%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高12億円（前年同四半期比5.0%増）、営業損失2億円（前年同四半期は4億円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,357億円であり、前連結会計年度末と比べ602億円減少しました。これは主に有価証券が299億円増加となりましたが、現金及び預金が463億円、受取手形及び売掛金が389億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は375億円であり、前連結会計年度末と比べ401億円減少しております。これは主に支払手形及び買掛金が229億円、未払法人税等が128億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が45億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ201億円減少しました。これは四半期純利益を19億円計上した一方、主に配当金の支払い140億円、連結の範囲の変更により78億円減少したことによるものであります。この結果、純資産は3,981億円となり、自己資本比率は7.1ポイント増加し、91.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日付「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、下記のとおり連結の範囲の変更はありましたが、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

(連結の範囲の変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった㈱吉井カントリークラブ及び㈱オン・ザ・ネットは、重要性が増したことにより連結の範囲に含めておりましたが、㈱オン・ザ・ネットについては、平成24年10月1日付で連結子会社であるインターナショナル・カード・システム㈱を存続会社とした吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	164,591	118,202
受取手形及び売掛金	70,340	31,417
有価証券	106,997	136,994
商品及び製品	214	5,075
仕掛品	1,643	354
原材料及び貯蔵品	957	396
その他	20,691	20,072
貸倒引当金	△14	△41
流動資産合計	365,423	312,472
固定資産		
有形固定資産	39,132	48,106
無形固定資産		
のれん	3,013	3,399
その他	342	356
無形固定資産合計	3,356	3,756
投資その他の資産		
投資有価証券	83,452	65,772
その他	5,192	6,197
貸倒引当金	△189	△191
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	88,075	71,399
固定資産合計	130,564	123,263
資産合計	495,988	435,735
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,504	20,588
1年内返済予定の長期借入金	335	—
未払法人税等	13,019	208
賞与引当金	803	408
その他	11,950	7,756
流動負債合計	69,614	28,962
固定負債		
長期借入金	2,816	3,156
役員退職慰労引当金	715	680
退職給付引当金	3,387	3,629
資産除去債務	58	58
その他	1,091	1,088
固定負債合計	8,069	8,614
負債合計	77,684	37,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	398,805	378,795
自己株式	△20,930	△20,932
株主資本合計	416,595	396,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,708	1,576
その他の包括利益累計額合計	1,708	1,576
純資産合計	418,303	398,159
負債純資産合計	495,988	435,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	102,201	67,525
売上原価	55,545	35,056
売上総利益	46,655	32,468
販売費及び一般管理費	29,380	29,378
営業利益	17,274	3,090
営業外収益		
受取利息	783	814
受取配当金	122	295
持分法による投資利益	1,565	—
その他	411	197
営業外収益合計	2,882	1,308
営業外費用		
支払利息	1	4
持分法による投資損失	—	91
その他	14	13
営業外費用合計	16	108
経常利益	20,141	4,290
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産廃棄損	28	110
投資有価証券売却損	755	—
ゴルフ会員権売却損	6	—
持分変動損失	1,602	—
特別損失合計	2,392	110
税金等調整前四半期純利益	17,756	4,179
法人税、住民税及び事業税	8,564	1,938
法人税等調整額	△1,068	318
法人税等合計	7,495	2,256
少数株主損益調整前四半期純利益	10,261	1,922
四半期純利益	10,261	1,922

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,261	1,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△342	△122
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△10
その他の包括利益合計	△327	△132
四半期包括利益	9,933	1,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,933	1,790
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	67,318	12,579	21,136	101,034	1,167	102,201	—	102,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	67,318	12,579	21,136	101,034	1,167	102,201	—	102,201
セグメント利益	18,319	1,019	1,167	20,506	440	20,946	△3,671	17,274

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,061	12,349	16,888	66,299	1,225	67,525	—	67,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	37,061	12,349	16,888	66,299	1,225	67,525	—	67,525
セグメント利益 又は損失 (△)	4,368	1,793	727	6,889	△240	6,648	△3,558	3,090

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

連結の範囲の変更を行ったこと及び剰余金の配当の実施により、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が前連結会計年度末に比べ21,933百万円減少しております。